

## 「私たちの電気を使ってください」 GPPと代理店契約を結びました!

所沢市民ソーラー(TPS)は、山宇農園発電所で発電するソーラーシェアリングの電気を、今年の8月10日からGPP(グリーンピープルズパワー株式会社)へ売電しています。GPPは電気の「地産地消」「再生可能エネルギーの普及」「市民電力の普及」などをめざす電気事業者です([www.greenpeople.co.jp/](http://www.greenpeople.co.jp/))。

GPPとの提携により、市民のみなさまはGPPからTPSの電気を買うことができます。その仕組みは、次頁に解説しています。

なおTPSはGPPと電力の小売り業務委託契約を結び(2020年5月)、GPPの代理店活動も行っています。

### 7月・8月の発電量実績

月	2020年7月		2020年8月	
	日間発電量	金額	日間発電量	金額
日\単位	kwh	円	kwh	円
1	71.94	1,424	150.49	2,979
2	197.93	3,919	171.67	3,399
3	98.11	1,942	169.37	3,353
4	43.76	866	176.91	3,502
5	78.8	1,560	165.54	3,277
6	46.59	922	186.52	3,693
7	51.53	1,020	173.88	3,442
8	53.26	1,054	120.27	2,381
9	47.36	937	152.24	3,014
10	79.17	1,567	160.82	3,184
11	65.73	1,301	190.99	3,781
12	152.84	3,026	103.84	2,056
13	70.58	1,397	159.64	3,160
14	27.92	552	169.15	3,349
15	39.35	779	189.82	3,758
16	102.68	2,033	183.45	3,632
17	48.01	950	160.32	3,174
18	36.33	719	179.23	3,548
19	167.11	3,308	182.11	3,605
20	167.76	3,321	192.19	3,805
21	69.01	1,366	188.74	3,737
22	128.29	2,540	178.26	3,529
23	30.4	601	126.51	2,504
24	73.64	1,458	155.06	3,070
25	34.91	691	174.18	3,448
26	49.14	972	157.03	3,109
27	74.72	1,479	125.74	2,489
28	69.55	1,377	158.5	3,138
29	35.3	698	179.5	3,554
30	121.55	2,406	163.42	3,235
31	111.34	2,204	105.91	2,097
<b>合計(実績)</b>	<b>2444.61</b>	<b>48,389</b>	<b>5051.3</b>	<b>100,002</b>
(予測値)	3,716	73,576	4,060	80,388

### 7・8月短観

雨が続いた7月の出来高は予想より2.5万円減でしたが、8月は一転晴天が続いたおかげで予想より2万円増でした。今年度トータルでは1.8万円増となっています。8月の売上高は10万円で、発電開始以来の最高額となっています(栗田彰)。

#### TPS 往来

「東大和エネルギーの会」が見学  
に。TPS側と交流

NPO法人東大和エネルギーの会(2015年4月設立、代表石井皆子氏)のご一行15名が8月21日に、山宇農園発電所を訪れ、TPS品川代表理事の説明や山崎理事の営農説明を受け、交流した。「エネルギーの会」は

既に11.52kwの太陽光発電を持つが、さらなる市民発電所の建設をめざして活発に活動している。その一環として、TPSの訪問となった。



# よりグリーンな電気に～GPP との代理店契約の概要

TPS は山宇農園太陽光発電所で作った電気は是非地域の皆さんに使ってほしいと考えています。この度、GPP(グリーンピープルズパワー株式会社)と契約し、誰でもが所沢市民ソーラー製電気を使える事になりました。

とは言え、電気は目に見えません。色も付いていませんから、何処から何処までが所沢市民ソーラー製かは分からないのです。

それでは電気を発電してから送配電網を通し、お客様の届くまでを簡単に説明します。

6,600V 送配電網は私たちの身近にあるもので、電気を一時的に貯めて置く大きなプールと想像してください。そこに、様々な所から電気が送られてきます。反対に需要側はこの送配電網から電気を流してもらいます。電気は貯めて置くことができないので、電力の小売り会社(GPP など)は、このプールに入れる電気(購入)と、お客様が使う電気(小売り)のバランスを取る作業を日夜行っています。これを電力の需給調整と言います。

会社の東京電力エネルギーパートナーにだけ便宜を図ることは許されないので。

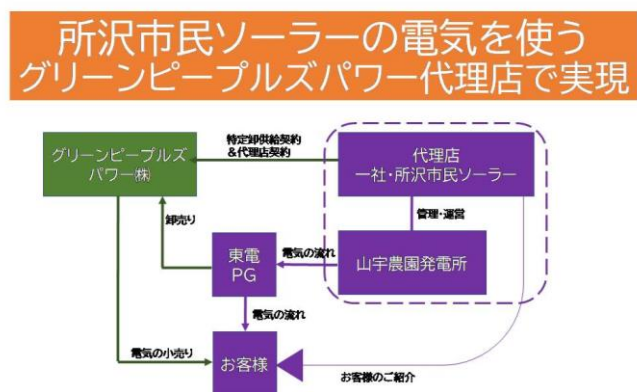
それでは、所沢市民ソーラーの電気はどの様にして皆さまのところに届くのでしょうか？

下富の山宇農園発電所で発電した電気は東電PGの送配電網に入り、お客様に直接届きます。

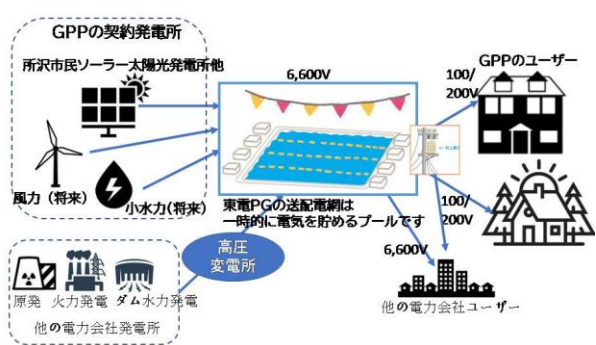
契約上は GPP に卸売りされ、その電気をお客様に販売しています。

つまり、電気はお客様に直送、お金の流れは GPP 経由という事になります。

以下簡単に図式化しました。



## 一目で分かる送配電網の簡単な仕組み



この送配電網を管理しているのが、関東地方ですと東京電力パワーグリッド(以下東電 PG)で、2020年4月1日で法律上独立した形になりました。

全ての電力小売り会社が利用する送配電網は、全てにフェアでなくてはなりません。東電PGは、元々同じ

多くの皆さんにこの仕組みを理解していただき、環境にやさしい再生可能エネルギーを使うエシカルな消費者、市民になってほしいと願っています。

右の図は、GPP との代理店契約をご理解いただくためのパンフレットの趣旨部分です。

(TPS 理事・GPP 取締役 大島 浩司)

**わたしたちの電気を使ってください**

わたしたち(社)所沢市民ソーラーは、電気の産直を目指すグリーンピープルズパワー(株)に、山宇農園発電所の電気を売ります

みなさまは、グリーンピープルズパワーから山宇農園発電所の電気を買うことができます

\* (社)所沢市民ソーラーは、東京電力パワーグリッド社が、グリーンピープルズパワーに卸供給することを承認しました(2020年5月)

\* (社)所沢市民ソーラーは、グリーンピープルズパワーの代理店として、電力の小売業務委託契約を結びました(2020年5月)

連絡・問い合わせ先  
(社)所沢市民ソーラー  
tokorozawa.shimin.solar@gmail.com

## TOPICS 非効率な石炭火力を100基停止しただけでは全く不十分です!

**最**近、毎年のように起こる異常気象や、夏の太平洋の海水温度が30℃になり、そのために風速70メートル;1時間当たりの雨量が100ミリを超えるというような化け物のような台風が来ることも含めて、「地球温暖化」対策は待ったなしです。

その中で経産省は、7月初旬に「非効率な石炭火力発電のうち、9割弱の100基を、2030年までにフェイズアウトすることを検討する」と発表しました。9割も廃止するなら、歓迎すべきかもしれませんが(全廃を目指すべきと云う視点からはこれでも不十分です)、本当でしょうか。

手元にある経産省が今年7月に作成した全国の石炭火力発電所のリストをみると、

現在、我が国にある石炭火力発電所 総数 150基  
そのうち、旧型のもの(発電効率が40%未満):

115基

そのうち、新型のもの(発電効率が40%以上):

35基

更に現在建設中或いは計画中のもの: 17基  
と、なっています。

即ち、9割弱というのは、発電効率が40%未満の旧型発電所のうち、100基をフェイズアウトする、ということです。「発電効率の良い発電所は維持拡大する」とも云っていますので、これでは発電能力として40%しか減らないのです。

この他にも、現在建設中や計画中のものも17基もあります。エネルギー基本計画/エネルギーバランスのうち、2030年に石炭火力の占める比率は、26%のまま据え置かれています。

菅新首相のお膝元の神奈川県(横須賀市2基)でも、安倍元首相の山口県(宇部市2基+周南市1基)にもそれぞれ新設計画があります。

これでは、パリ協定での目標:2030年までに二酸化炭素を産業革命以降+1.5%迄で押さえるという目標には到底届きません。その目標を達成するためには、OECD 諸国で2030年、世界でも2040年までには廃止する必要があります。更に、大規模で高効率の石炭火力発電を残すことは、大規模電源の一極集中につながります。2018年、地震の影響で苫東厚真火力発電所が停止し、北海道中が停電に見舞われたこ

とは記憶に新しいことです。「小規模・分散型」が今後のあるべき方向です。

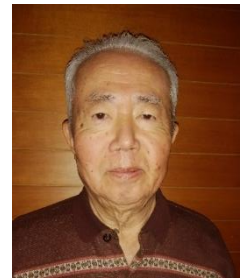
このために経産省の新しい方針には、自然エネルギー財団・IGES・FoE Japan その他多くの環境団体が反対しており、「パリ協定との整合性を維持するために、2030年までに石炭火力はゼロにせよ」と主張しています。

更に、石炭火力発電の輸出についても、「今後は、海外の石炭火力発電所への公的支援は原則としてしない」といいながら、現在建設中の3基(ベトナム/バングラデシュ/インドネシア)については例外として認めています。この問題に関しても FoE Japan、気候ネットワークなど5つの環境市民団体が政府に対して意見書を提出しています。

「電力の容量市場(このテーマは情報公開が不十分で分かり難く別途解説が必要です)でも、消費者の省エネ・再エネ選択の余地をなくし、電力自由化にも反し、且つ消費者に二重の負担を強い、反面、原発と石炭火力への事実上の補助金の原資になります。

安倍政権の継承を政策の柱とする、菅政権では石炭火力ゼロは期待できません。早い機会での政権交代が望まれますが、野党には受けて立つ準備はできているでしょうか。

(TPS 監事 河登一郎)



### お知らせ

所沢市民ソーラー(TPS)のホームページへのアクセスは、

<https://tokorozawasiminnsora.jimdofree.com/>  
からも下のQRコードからのどちらからでもアクセスできます。





## 所沢市民ソーラー・山宇農園発電所「誕生物語」第4回

**埼** 玉県川越農林振興センターと所沢市農業委員会に対する許認可申請の手続きが難航していた間は色々な業務が中断を余儀なくされていました。2019年8月16日に県、市とも認可申請が受理され、喜びもひとしおでしたが味合うひまもなく一気に忙しくなってきました。

この土地は埼玉県教育委員会から「三富開拓地割遺跡」に認定されており農地の変更に關わる手続きが必要でした。色々な注文がつけられることを心配しましたが、意外と書類申請だけでOKになりました。そしていよいよ「建設資金募集活動」と「建設工事開始の準備」です。

### 《建設資金募集活動》

必要総資金は約800万円(工事費用680万円ほか 系統連系費、地上権設定登記費用、敷地整備費用等)と算定し、資金募集に入りました。まず基金として400万円(社員200万円、町田市民電力200万円)を確定、一般市民応募の建設協力は《1口10万円、年利1%、10年返済》の条件で市民に募集したところ22人から30口、300万円の応募いただきました。残りは市の助成金(134万円)を充てることとしました。

着工前に支払う工事代金など必要な運転資金(約300万円)は理事社員が快く融通を引き受けていただき、当面の資金繰りをクリアしたうえで募集活動に入ることができました。

町田市民電力さんとは事業立ち上げ時に色々なアドバイスをいただくとともに200万円の資金支援をお約束いただいていたもので、今後やっていただく保守管理の手数料をお支払いすることと合わせて基金拠出いただく旨の覚書を締結しました。また市民募金が予定通り集まらない場合を考えて日本政策金融公庫川越支店と融資交渉(金利2.11%、5年返済、無保証)を進め、審査はパスしていましたが、市民募金が順調に集まりましたので金融公庫融資は取下げしました。当社の事業運営と返済能力を客観的に審査いた

だいたことで建設資金ご協力者に対しても安心の材料になったと考えています。市民募金に際しては資金募集のパンフレットを作成し、「所沢エコタウン構想のっとり、市民と農家の力を合わせてソーラーシェアリング事業をすること、地球温暖化防止のためクリーンな太陽光発電をここ所沢の地において行うこと」の意義を訴え、多くの市民の方に賛同を得ることができました。

### 《建設工事》

建設工事開始前に敷地整備のために樹齢数十年の樹木の伐採伐根の仕事がありました。我々と農園主山崎さん、生活クラブの小山さん(山崎さんの畑で農業事業活動)の力を借りて作業を始めたが人間ワザではおぼつかしいと判断し専門の造園業の社長にお願いしたところ、2台のユンボで大樹を根こそぎとり、畑の整備をしていただきました。

工事は2019年10月7日の墨だしから始まり、順調に行われ、同年11月25日に完工しました。12月1日に市長を始め多くの関係者にご来臨いただき開所式を開催し、通電開始しました。今日で稼働後10ヵ月経ちますが順調に発電を続けており、架台下の作物も予定どおり成長しています。ここに至るまで、農園主山崎さんを始め多くの関係者の皆さまのご尽力とともに、理事社員の奮闘努力に感謝申し上げます。(代表理事 品川 昭)



(社員が協力しての伐根作業風景。2019年10月18日、中原幹男撮影)

# コロナ禍に思う(3)

## コロナ禍対策の日独比較

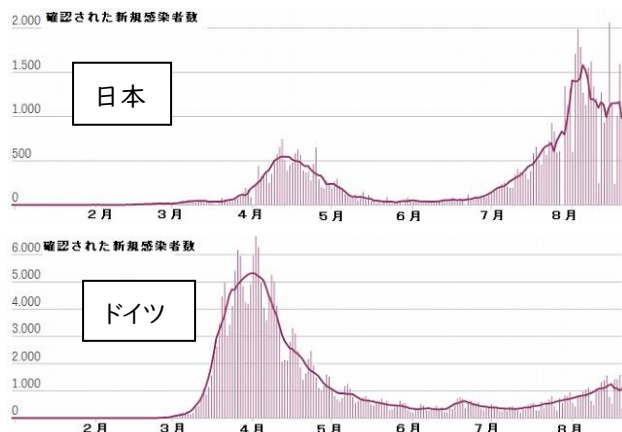
望月浩二 (ドイツ在住環境問題コンサルタント)

**新**型コロナウイルス感染症 (Covid-19)への感染者の数の推移について日本とドイツを比較すると下の図のようになります。



このグラフによると日本では明らかに感染の「第二波」が起きているのに対して、ドイツではそれが起きていません。それは、なぜでしょうか。

ドイツの管轄官庁であるロベルト・コッホ研究所によると、Covid-19では、自覚症状のない新規感染者が



出典：ドイツの新聞 DIE ZEIT (2020年8月20日)  
縦軸は新規感染者数

無意識のうちに病気を広める点に最も注意する必要があります。そのため、ドイツでは感染の可能性のある場合には、最大限の PCR 検査を実行し、新規感染者をできるだけ確実に把握し、自覚症状のない感染者による感染を未然に防ぐように対策を採っています。ドイツで「第二波」が起きていないのは、その成果と考えられます。

これに対して日本では、政府の方針により、人口あたりの PCR 検査の数をウガンダ並みの世界 158 位と非常に低く抑えているために、自覚症状のない新規感染者による二次感染が発生し、第二波が起きたものと考えられます。この方針を維持するならば、さらに

波が押し寄せるでしょう。日本政府が今後、PCR 検査についての方針を変更するかどうか注目されます。(2020/08/21 記 望月氏のサイト:[www.mochizuki.de](http://www.mochizuki.de))

## もし感染した場合の行動は？ 中原幹男

**感**染の疑いを持った時にどうするか。幸いかりつけの医院が発熱外来を開設しており、異常を感じたらすぐにでも受診に来よう勧めてくれるのでそうしようと思います。即入院・隔離に備え、関係者との連絡を取るためにスマホ携帯は必須です。検査結果陽性となれば、保健所の問い合わせに応じ過去1~2週間の接触者を報告しなければなりません。濃厚接触者と判定された人には保健所から連絡が行くと思われます。その可能性がある人たちは日頃からコンタクトしているので、速やかに私の状況を連絡しなければなりません。動揺が広がるかもしれませんが、包み隠さず説明することが不安や噂を抑えることになると考えます。



毎日外出自粛をせずに何かと出かけているので、どこでどうなるかわかりません。日本では罹患者責任論がまかり通っています。確かに“風邪”にかからないように気を付けることはできますが、コロナは自衛だけでは防御できません。あまり自制で消耗せず、他人にも優しくなれたらと願っています。

毎日外出自粛をせずに何かと出かけているので、どこでどうなるかわかりません。日本では罹患者責任論がまかり通っています。確かに“風邪”にかからないように気を付けることはできますが、コロナは自衛だけでは防御できません。あまり自制で消耗せず、他人にも優しくなれたらと願っています。

(TPS 副代表理事)

## 義父の入院で非情な現実を体験 山本 治

**8**月上旬に私の100歳になる義父は体調が思わしくないと、長女が同行して、いつもの医院でレントゲン写真を撮ると肺炎の診断となり、そこから病院探しが始まる。西埼玉病院から清瀬の病院まで数院を探し、幸いにも距離的に近く所沢駅前の所沢中央病院に入院が



決まり、救急車で運ばれる事態となる。病院に着くと患者の義父は直ちに院内に運ばれるが、今はコロナ禍にあり、付き添いの長女はロビーに留められ、今後の説明と手続きをするだけで帰宅せざるを得なくなった。その日以降は私を含めた家族は着替えなどを持参してもロビーで看護婦と受け渡しを行い、義父が点滴で栄養補給、トイレも行ける状態にないことなどを聞くだけで私たちが病室にまで行くことは許されなかった。入院中に、プリンなどの差し入れやミニ DVD 機器などを届ける。昔の旅行の映像を見てたことを看護師から聞いた。

私たち夫婦間で義父の退院は何日かな、などと話し合っていたら、9月9日深夜に電話があり、急ぎ妻と義母が病院に出向いたが、到着前に亡くなったことを病院側から聞かされた。数カ月前に一家曾孫まで含め10名余で白寿の祝いしたばかりなのに。義母は70余年付き添った義父と1カ月余日も顔を合わすこともなく、話もできず、寂しいお別れとなった。(TPS 社員)

## 社員自己紹介 栗田 彰

TPS の前身の所沢・自然エネルギー普及研究会に参加したのは2014年です。原発政策が限界を迎え、地球温暖化が待たなしの課題となっていました。当時の政策に反対だけではなく将来のエネルギー政策として現実化できなければ次に進めないという認識でした。当時所沢市の財政を市民サイドから検証する会に所属しており、そこで紹介され、実践を深める方向で関わってきました。

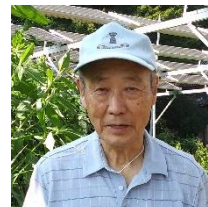
仕事は元測量士で図面作りから DOS 時代のパソコンを扱い、バブル崩壊で軽いカルチャーショックを受け



ました。その後パソコン教室を運営する傍ら、プログラミングに手を出しました。機械いじりや電気が好きで電気製品の修理やトランジスター・アンプ作成もやります。

## 社員自己紹介 塚本 二郎

市 民大学(所沢市)の卒業生がつくる「ところざわ倶楽部」の広報紙『広場』で「戦争と平和!」という連載企画があり、その倶楽部にも所属している私は、戦争体験を投稿いたしました。



<http://www.tokorozawaclub.com/hirobabn.html>

ここでの自己紹介は、その投稿文の後編の位置づけとさせていただきます。

当時多くの国民が敗戦後の痛みを引きずっている中で、多少の夢もみれる自由を享受することが出来るようになってきましたが、就職戦線は厳しく、私の場合は近くの工業高校に入学し、就職に有利になるように考えました。3年間、工業高校で学ぶ内に公立大学へ進学をしたくなり、そっと挑戦しましたが無理でした。一方就職の方は、高校の先輩、担任の先生のお力添えをいただき受験のチャンスを得、内定を得ました(大学進学は1年空け、某私大夜間部に入り卒業した)。

就職先は都市ガス会社で、ガスの製造工場での仕事を想像していましたが、全く異なり建物内ガス配管の設計や工事の打合せが主でした。後半の20年位は保安業務を担当し、LNG(液化天然ガス)の導入をはじめ、マイコンメーター、配管・接続具の改善、給排気の処理など安全機器普及に携わりました。ガス会社は、エネルギー供給会社として、安全と共に再生可能エネルギーの普及にも努めて欲しいと願っています。

一般社団法人(非営利型)所沢市民ソーラー会報 (略称 TPS会報)

第5号 2020年(令和2年)10月1日発行

編集:TPS 編集委員会 発行責任者:品川

連絡先 e-mail : [tokorozawa.shimin.solar@gmail.com](mailto:tokorozawa.shimin.solar@gmail.com)